



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑電通株式会社

コード番号 7505 URL <https://www.fusodentsu.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）有 富 英 治

問合せ先責任者（役職名）コーポレートイノベーション本部経営企画室長（氏名）下 山 万 里 子（TEL）03(3544)7211

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第3四半期の業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	34,733	12.8	1,602	51.5	1,762	48.2	1,197	46.5
2023年9月期第3四半期	30,794	12.1	1,057	287.4	1,189	196.6	817	238.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	207.28	—
2023年9月期第3四半期	141.07	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	28,674	12,393	43.2
2023年9月期	27,226	11,089	40.7

（参考）自己資本 2024年9月期第3四半期 12,393百万円 2023年9月期 11,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	20.00	—	49.00	69.00
2024年9月期	—	10.00	—		
2024年9月期（予想）				53.00	63.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2023年9月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当10円00銭、記念配当10円00銭

※2023年9月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭、特別配当39円00銭

※2024年9月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当10円00銭、特別配当43円00銭

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,400	5.5	1,300	3.1	1,470	2.9	1,030	6.0	178.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期3Q	6,960,980株	2023年9月期	6,960,980株
2024年9月期3Q	1,172,361株	2023年9月期	1,194,151株
2024年9月期3Q	5,778,243株	2023年9月期3Q	5,794,943株

※期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)が保有している当社株式を含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費に弱さが見られるもののインバウンド需要の増加や企業の堅調な設備投資などを背景として緩やかな回復の動きが続いていますが、円安に伴うインフレ懸念や世界的な金融政策の動向、地政学リスクなどから、依然として注視が必要な状況が続くと見込まれております。

当社が位置するICT業界においては、業務効率化や生産性向上を目的としたシステム投資やIT技術の活用によりビジネスモデルを変革するDX関連投資などを中心として、堅調な推移が見込まれており、生成AIなどを活用したAI関連商品への投資も加速すると見られています。

このような環境の中、当社は、2022年9月期より2024年9月期を対象とした第2期中期経営計画「FuSodentsu Vision 2024(FSV2024)」～80周年さらには100周年に向けたInnovation Challenge～の最終年度として、自治体や防災・減災、ヘルスケアビジネスなどの主力ビジネスの拡大や、売上の平準化や安定的な収益の獲得を目指すサービスビジネスの強化などに努めてまいりました。2023年には、当社の存在意義である「パーパス」と行動基準である「スタイル」を制定いたしました。パーパスをステークホルダーの皆様と共有し、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくとともに更なる企業価値の向上に努めております。また、2024年3月1日に経済産業省が定めるDX認定制度に基づき「DX認定事業者」としての認定を取得いたしました。この認定は、デジタル技術を活用した社会変化への対応準備が整っている事業者に与えられるものであり、高度化・多様化するお客様の課題を解決するDXビジネスの推進に向けて、社内業務変革やDX人材の育成など、社内におけるビジネスプロセスを変革しDXへの取り組みを引き続き継続してまいります。

当第3四半期累計期間の受注高につきましては、小売業向けのWi-Fiアクセスポイント設置工事や防災・減災ビジネス、パソコン・ソフトウェア販売などの増加により、36,443百万円(前年同四半期比18.1%増)となりました。売上高につきましては、小売業向けのWi-Fiアクセスポイント設置工事や防災・減災ビジネス、交換機更新案件、ヘルスケアビジネスに加え、サポートデスクサービスやクラウドサービスなどが増加したことにより、売上高は34,733百万円(前年同四半期比12.8%増)となりました。

部門別の売上高につきましては、

ネットワーク部門	11,285百万円	(前年同四半期比	23.9%増)
ソリューション部門	8,805百万円	(前年同四半期比	0.4%減)
オフィス部門	6,642百万円	(前年同四半期比	14.3%増)
サービス部門	7,998百万円	(前年同四半期比	13.6%増)

となりました。

利益につきましては、前年同四半期に比べ売上高が増加したことから、

営業利益	1,602百万円	(前年同四半期比	51.5%増)
経常利益	1,762百万円	(前年同四半期比	48.2%増)
四半期純利益	1,197百万円	(前年同四半期比	46.5%増)

となりました。

<当社の四半期業績の特性について>

当社の売上高は、お客様の決算期が3月に集中していることに伴い季節の変動があり、第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、28,674百万円となり、前事業年度末に比べ1,488百万円増加となりました。主な増加理由といたしましては、仕掛品が449百万円、投資有価証券が1,220百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、16,280百万円となり、前事業年度末に比べ143百万円増加となりました。主な増加理由といたしましては、未払法人税等が244百万円、賞与引当金が453百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が495百万円、契約負債が266百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、12,393百万円となり、前事業年度末に比べ1,304百万円増加となりました。主な増加理由といたしましては、四半期純利益の計上とその他有価証券評価差額金が442百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末に比べ1,940百万円増加し、8,252百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動で得た資金は、3,053百万円(前年同四半期は得た資金2,832百万円)となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したこと、ならびに売上債権及び契約資産の減少によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動で使用了資金は、752百万円(前年同四半期は使用了資金38百万円)となりました。主な要因は、投資有価証券、有形固定資産および無形固定資産の取得によるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動で使用了資金は、360百万円(前年同四半期は使用了資金268百万円)となりました。主な要因は、配当金の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,255,789	8,208,479
受取手形、売掛金及び契約資産	8,250,694	6,327,516
有価証券	1,600,000	1,600,000
商品	13,875	4,952
仕掛品	1,715,448	2,164,879
その他	1,028,435	1,070,283
貸倒引当金	△16,522	△12,685
流動資産合計	18,847,721	19,363,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,181,632	1,199,755
減価償却累計額	△854,420	△870,609
建物及び構築物（純額）	327,211	329,145
土地	188,725	188,725
建設仮勘定	4,878	56,358
その他	919,643	964,564
減価償却累計額	△740,904	△781,677
その他（純額）	178,739	182,886
有形固定資産合計	699,554	757,115
無形固定資産		
ソフトウェア	215,894	187,280
その他	22,326	22,131
無形固定資産合計	238,220	209,412
投資その他の資産		
投資有価証券	5,636,296	6,856,707
リース投資資産	752,490	849,202
差入保証金	352,566	359,114
繰延税金資産	608,939	177,245
その他	112,082	119,573
貸倒引当金	△21,599	△17,480
投資その他の資産合計	7,440,775	8,344,363
固定資産合計	8,378,551	9,310,891
資産合計	27,226,272	28,674,316

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,657,120	8,152,515
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	385,460	141,203
契約負債	788,932	1,055,061
賞与引当金	854,661	400,780
その他	1,929,881	2,022,862
流動負債合計	11,716,056	11,872,424
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期末払金	54,788	12,940
退職給付引当金	3,067,076	2,963,708
株式給付引当金	219,707	244,573
リース債務	778,152	885,864
その他	1,000	1,000
固定負債合計	4,420,725	4,408,087
負債合計	16,136,781	16,280,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,083,500	1,083,500
資本剰余金	1,208,352	1,216,448
利益剰余金	7,642,991	8,483,221
自己株式	△649,847	△636,581
株主資本合計	9,284,996	10,146,588
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,804,495	2,247,216
評価・換算差額等合計	1,804,495	2,247,216
純資産合計	11,089,491	12,393,805
負債純資産合計	27,226,272	28,674,316

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	30,794,509	34,733,359
売上原価	25,108,035	28,296,714
売上総利益	5,686,473	6,436,644
販売費及び一般管理費	4,629,210	4,834,619
営業利益	1,057,262	1,602,025
営業外収益		
受取利息	6,574	8,944
受取配当金	98,133	123,405
仕入割引	2,234	1,744
貸倒引当金戻入額	3,520	3,958
その他	23,353	24,093
営業外収益合計	133,817	162,145
営業外費用		
支払利息	522	449
その他	1,242	1,505
営業外費用合計	1,764	1,955
経常利益	1,189,315	1,762,216
特別利益		
固定資産売却益	—	545
投資有価証券売却益	38,400	16,427
特別利益合計	38,400	16,973
税引前四半期純利益	1,227,715	1,779,189
法人税、住民税及び事業税	166,821	334,465
法人税等調整額	243,360	246,967
法人税等合計	410,181	581,433
四半期純利益	817,533	1,197,756

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,227,715	1,779,189
減価償却費	146,263	151,389
固定資産売却損益(△は益)	—	△545
投資有価証券売却損益(△は益)	△38,400	△16,427
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,014	△7,955
賞与引当金の増減額(△は減少)	△485,766	△453,881
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△99,770	△103,368
株式給付引当金の増減額(△は減少)	33,981	33,541
受取利息及び受取配当金	△104,707	△132,349
支払利息	522	449
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	2,110,104	2,189,307
棚卸資産の増減額(△は増加)	144,653	△440,507
仕入債務の増減額(△は減少)	△530,324	495,395
未払消費税等の増減額(△は減少)	220,904	△107,538
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△4,535	4,119
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(△は減少)	△166,158	△142,462
その他	255,755	226,269
小計	2,711,251	3,474,625
利息及び配当金の受取額	104,418	131,676
利息の支払額	△524	△300
法人税等の還付額	125,511	—
法人税等の支払額	△107,724	△552,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,832,931	3,053,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,103	△600,855
投資有価証券の売却による収入	92,200	24,320
投資有価証券の償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△52,038	△98,936
有形固定資産の売却による収入	—	600
無形固定資産の取得による支出	△71,228	△53,729
敷金の差入による支出	△6,910	△13,075
敷金の回収による収入	8,215	3,929
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△4,711
その他	△8,475	△9,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,839	△752,078
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	44	—
自己株式の取得による支出	△88,569	△165
配当金の支払額	△172,914	△353,319
その他	△6,781	△6,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,219	△360,460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,525,872	1,940,803
現金及び現金同等物の期首残高	5,112,907	6,311,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,638,780	8,252,783

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、情報通信機器の施工、オフィス機器の販売、システムソフト開発およびこれらに関連するサポートサービスの単一事業を営んでいるため、記載を省略しております。